

一般質問 町政を問う

自民党 公明党 自由民主党 国民民主党 改革党 住民と自治の会 共産党 日本共産党 民主

質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載しています。

高齢社会に身近なコミュニティの場を

高水 永雄 議員（自民）



町長 施設は充足している

質問 高齢社会になり、高齢者はこれからの暮らしに不安を感じている。今まで社会の一員として活動し、現在の繁栄社会を築かれた方々は、住みなれた町に、安心して住み続けられるようなまちづくりを願っている。これから団塊世代の人たちが、前期高齢者になるのは目前である。そこで、今から身近なコミュニティの場を設置し、活動の拠点作りが必要と思われるが、町長の所見を伺う。

町長 現在、コミュニティ活動の拠点として、高齢者福祉センター寿楽、武蔵野・元狭山コミュニティセンター、各地区会館などが、趣味や生きがいづくりの場として利用されており、公共施設としては充足していると考えている。しかし、住民自らが身近にある地域の空き家などを活用して拠点づくりを行う場合には、町が支援すべきと考えている。



「ふれあい・いきいきサロンはこねがさき」でのねずみのマスコットづくり(箱根ヶ崎南会館)

「朝の読書」運動の推進を

小川 龍美 議員（公明）



教育長 20年度の教育活動に取り入れるよう指導

質問 始業前の10分間、生徒も教師もクラスで好きな本を読むという「朝の読書」運動は現在全国2万以上の学校で実施され、様々な効果が実証されている。わが町でも取り組んでいる学校はあるが、効果をあげるには「朝の

読書」の4原則を守った取り組み方が重要となる。また、ボランティアなど人材の確保、学校図書室の拡充、子どもたちが読書しやすい環境づくりなどが求められる。町は「朝の読書」運動にどう取り組むのか所見を伺う。

しても、小・中学校の実態に応じ、20年度の教育活動に取り入れるよう校長会などを通して指導している。



葛飾区上平井小学校で行われている「朝の読書」

教育長 朝の読書については、児童・生徒の情緒面の安定や豊かな心の育成および長文を読むことへの習慣化など、多岐にわたる効果があるかと理解している。教育委員会と

「お年寄りの居場所」づくりは、

町長 住民からの盛り上がりが必要。

「エコキャップ運動」の取り組みを。

町長 ボランティアの取り組みには協力したい。

行政サービスの拡充について

大坪 国広 議員（共産）

町長 利便性の向上には努めたい



月曜日は休みとなる図書コーナー(武蔵野コミュニティセンター)

質問 近年、情報通信技術の飛躍的な進歩と共に多様化する住民ニーズに答えるために、更なる行政サービスの拡充が求められている。次の2点について町長の所見を伺う。

指定管理者制度を導入するなど、利便性向上に向けて見直しは行っていく。

「広報みずほ」を町内の全事業所にも配布するべきと思うかどうか。

町長 公共施設、駅、金融機関などに設置されており、かつホームページに全ページが掲載されていることなど、ご覧いただけている。こうしたことから、全事業者への一律配布は考えていないが、希望があればお届ける。

問① 図書館、コミュニティセンターなどの公共施設、祝日や振替休日も開館し、住民サービスを拡充するべきと思うかどうか。

町長 20年度地域保健福祉審議会での審議予定。